



〈点滅形誘導灯（電池内蔵型）〉

保管用

品番	一般型（20分定格）		長時間定格型（60分定格）	
	壁埋込型	FA (FAH) 20301 [B級・BL形] FA (FAH) 40301 [B級・BH形]	FA (FAH) 20311 [B級・BL形] FA (FAH) 40311 [B級・BH形]	

●器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。 ※上記（ ）内は加工品番です。（以降、加工品番の記載を省略します。）

施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

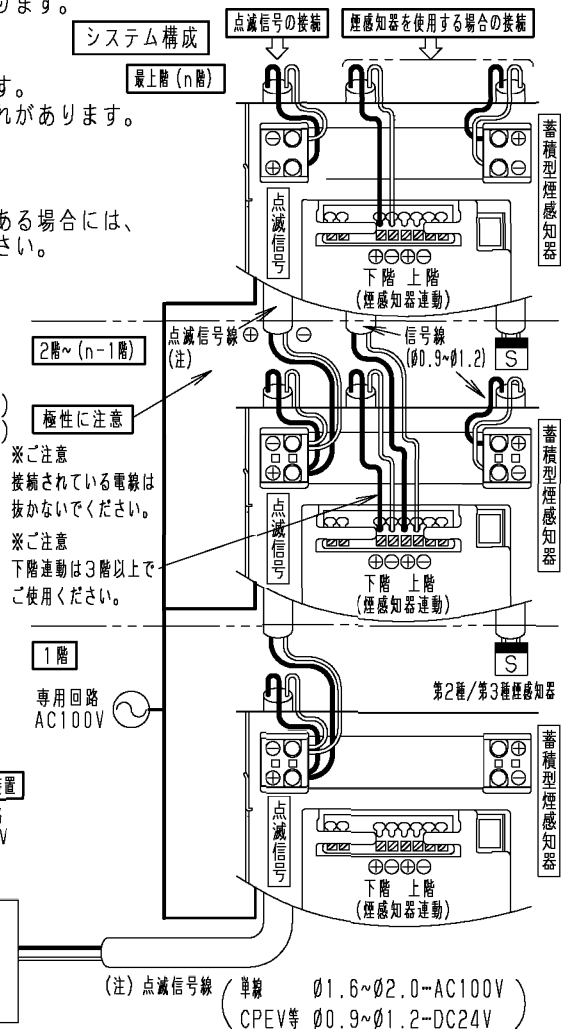
警告

- 施工は、取扱説明書にしたがい確実に行う。施工に不備があると正しい避難誘導ができないほか、火災・感電・落下の原因となります。
- 器具を改造しない。火災・感電・落下の原因となります。
- 断熱材、防音材をかぶせて使用しない。火災の原因となります。
- 壁埋込専用です。指定以外の取付はしない。火災・感電・落下の原因となります。
- 表示された電源電圧（定格電圧±6%）・周波数で使用。指定外の電源電圧・周波数で使用すると火災・感電の原因となります。
- 蓄電池を短絡・分解などしない。また、火や水に投入しない。火災・破裂・やけど・感電の原因となります。
- 蓄電池は確実に取り付ける。非常時に点灯しません。



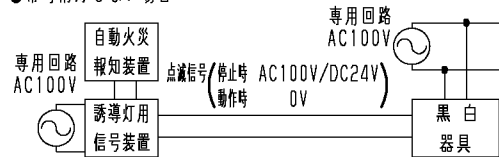
注意

- この器具は一般屋内用器具です。雨水のかかる場所、湿気が多い場所、直射日光の当たる場所、振動の強い場所、温泉街など腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。電源線、信号線及び取付部からの水の滴下等の浸入がある所でも使用できません。火災・感電・落下の原因となります。
- 外の風が直接当たる場所では使用しないでください。落下の原因となります。
- 周囲温度は、5～35℃以内で使用してください。
- 指定外の周囲温度で使用すると、蓄電池の劣化及び非常点灯しない原因となります。
- 寒冷地などで外気に通ずる場所に設置した場合、非常点灯が極端に短くなるおそれがあります。やむを得ず設置する場合は、非常点灯時間の点検を頻繁に行ってください。（少なくとも半年ごとの点検は必要）
- 自己点検リモコン（別売）をご使用いただくと、点検が簡単となります。
- 電源穴、信号穴及び取付穴を通じて取付面うら側から水気、湿気が入る可能性のある場合には、器具取付後、電源穴、信号穴及び取付穴のすきまを防水シール材等で埋めてください。防水処理が不完全な場合、浸水による火災・感電の原因となります。
- 一般屋内でご使用の場合でも、器具周囲に硫黄成分が存在する場所では使用しないでください。光学性能に影響を与える場合があります。（一部の食品や薬品・紙類またの排気ガスにも硫黄成分が含まれます。）
- 必ず当社の蓄積型煙感知器をご使用ください。
感知器ヘッド（・2種ヘッド：BV454728・3種ヘッド：BV455728）
感知器ベース（・露出型ベース：BVK4010・埋込型ベース：BVK4017）
- 必ず当社の信号装置をご使用ください。（FF90023、FF90024K、FF90028K）

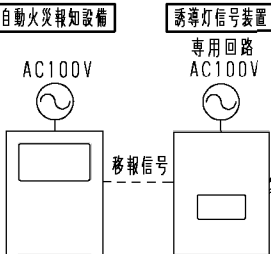
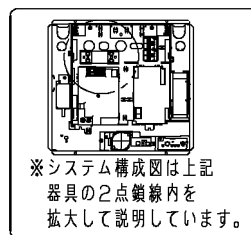
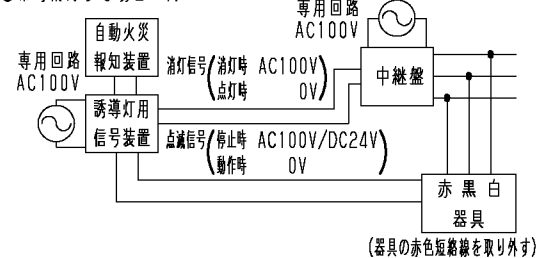


配線種類

●常時消灯しない場合



●常時消灯する場合の例



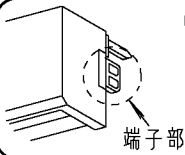
施工上のご注意

- この器具の電源は誘導灯専用回路にしてください。
- この器具は常時連続点灯し使用してください。常時消灯して使用される場合は、事前に所轄消防署の了解を得てください。
- この器具の点滅の動作は信号装置により行ってください。
- 信号装置は自動火災報知設備と連動させて使用してください。守らないと正しい避難誘導ができません。
- 電源を通電せずに、蓄電池を接続したまま放置しないでください。蓄電池の劣化や短寿命の原因となります。
- 24時間充電後、非常点灯及び点滅の確認をしてください。電池は設置後通電し、充電しないと点灯しません。

各部のなまえと取付けかた



施工は、施工説明書にしたがい、確実に行う。
施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。

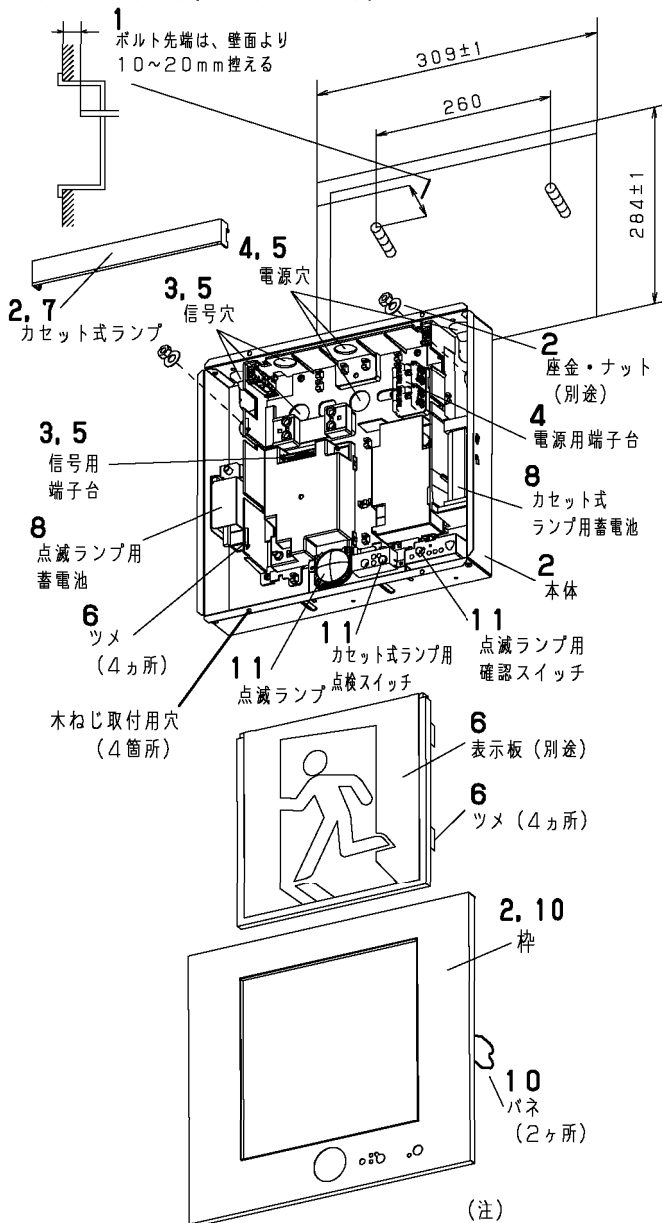


(注) カセット式ランプの端子部を直接持ったり押さえたりしないこと
直接触れた場合、静電気によるLED破壊、及び汚れによる導通不良の恐れがあります。

電源穴、信号穴及び取付穴を通じて外部から水気・湿気が入る可能性のある場合には、器具取付後、電源穴、信号穴及び取付穴のすきまを防水シール材等で埋めてください。

器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用する。
けがのおそれがあります。

※本図はFA20301で説明しています。
※この図は一部省略抽象化した共通部品図です。



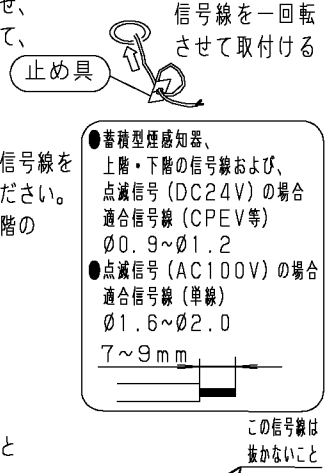
適合表示板	FK20000 FK20005 FK20006 FK20007 FK20008
-------	--

適合取付ボックス FK21712

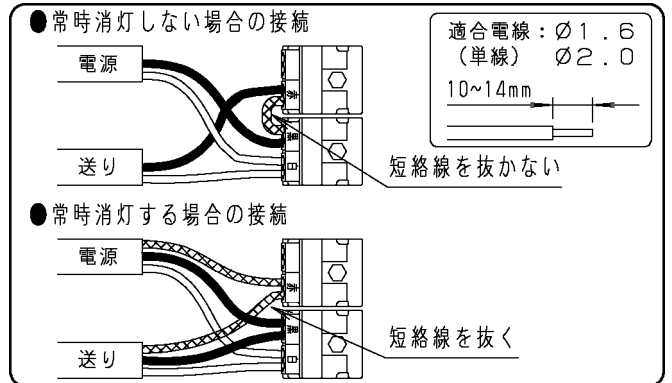
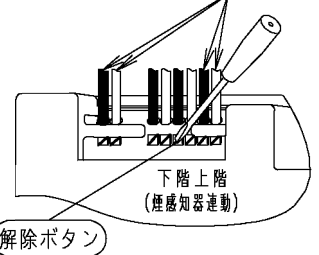
※取付ボックス使用時は取付ボックスの
施工説明書を参照してください。

(注) この器具の適合表示板は
避難口専用です。
通路用は使用できません。

- 取付前の確認
 - 器具質量：2.7kgに十分に耐えるよう取付ボルト取付部の強度を確保する。
(取付ボルトは、W3/8又はM10を使用する。)
 - 点滅ランプ用蓄電池に貼り付けている青いテープをはがしてから施工してください。
不備があると器具落下の原因となります。
- 本体の取付
 - 枠とカセット式ランプを本体から取り外す。
 - 電源線を電源穴、信号線を信号穴から引き込んでおく。
 - 座金、ナットにて本体を確実に取付ける。
(取付ボルト推奨トルク値：0.6N・m)
 - (注) 本体取付方向は、点検スイッチを右下側にして取付けてください。
取付に不備があると落下の原因となります。
- 信号線の接続 (注) 詳細な結線は表紙「システム構成」を参照ください。
 - 上階・下階の信号線は電線に余裕をもたせ、信号線用穴付近で同梱の止め具を使用して、張り止めを行ってください。
止め具が2個一体になっている場合は、分断してご使用ください。
 - 点滅、蓄積型煙感知器の信号用端子台は信号線を差し込んだのちにネジを確実に締めてください。
 - 煙感知器と連動させ停止させる上階、下階の信号線接続は、適合信号線を確認の上、端子台に確実に差し込んでください。
信号線を抜く場合は、必ず解除ボタンを押しながら行ってください。
(注) 上階・下階以外の信号線は抜かないでください。
 - 接続が不完全な場合、火災・感電の原因となります。



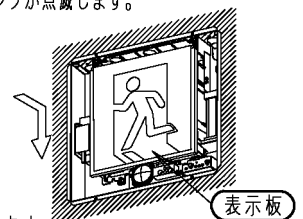
- 電源線の接続
 - 電源線を確実に接続する。
 - 端子台の容量は15Aです。
接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、火災・感電の原因となります。



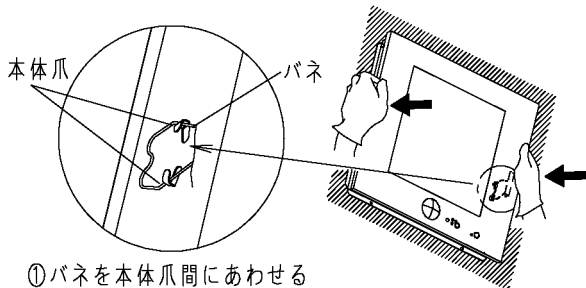
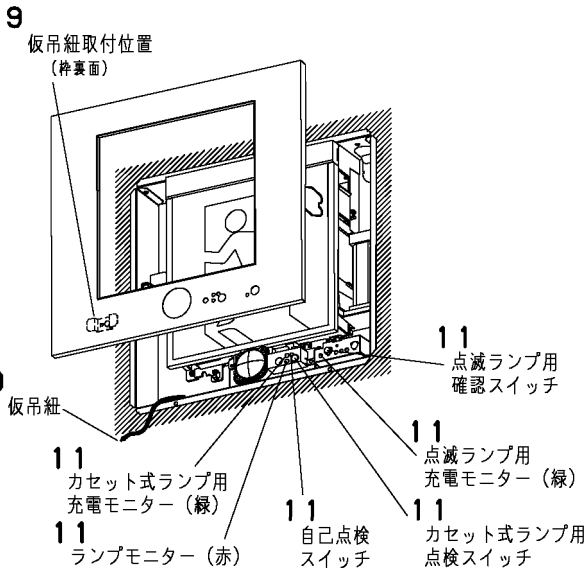
(注) 電源線・信号線接続後、余分な線は器具内部部品との当たりを防ぐため電源穴・信号穴へ押し込むか、線を押つけて処理すること。

- 電源、信号を通电させる。
(注) 通電なしで蓄電池を接続した場合、点滅ランプが点滅します。

- 表示板の取付
 - 表示板のツメが本体のツメ(4ヵ所)の上側にくるように合せる。
 - 表示板を下側にスライドさせて取付ける。
(注) 避難方向に表示板の表示方向を合せてください。



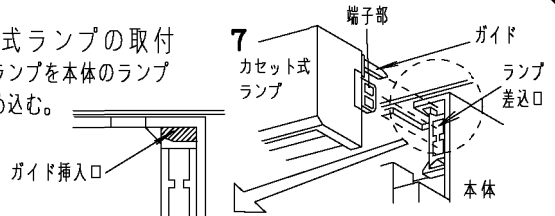
各部のなまえと取付けかた (続き)



② パネの位置から真直ぐ
枠を押さえ込む
(注) コネクタや電線、
仮吊紐をはさまない
ように取り付けて
ください。

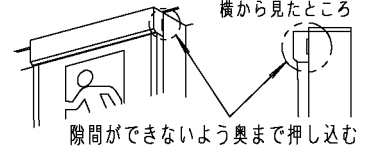
7. カセット式ランプの取付

① カセット式ランプを本体のランプ
差込口にはめ込む。



(注) カセット式ランプ端子部を持たないこと
(注) ガイドをガイド挿入口に入れながらカセット式ランプをはめ込む

② カセット式ランプをカチッと
音がするまで奥に押し込む。



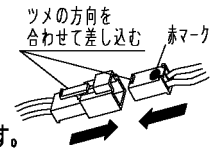
取付に不備があるとカセット式ランプの落下の原因となります。

8. 蓄電池の接続

・コネクタを確実に接続する。

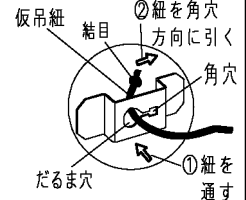
(注) 方向を間違えると蓄電池が故障します。

接続が不完全な場合、
火災・非常時不点の原因となります。
電源、信号の通電がない状態で接続した場合、
カセット式ランプが点灯、点滅ランプが点滅します。



9. 仮吊紐の取付

・仮吊紐を仮吊紐固定位置のだるま穴に通した後、
角穴方向に引き結目を角穴に引っ掛ける。
取付に不備があると枠落下の原因となります。



10. 枠の取付

① パネを本体爪間の中央に合わせる。

② パネの真上付近から枠を真直ぐに押さえ枠を本体にはめ込む。

(注) 仮吊紐を本体に挟まないように本体内部に収納してから枠を取付けて下さい。
パネが本体爪からずれていたたり、斜めから枠を押さえるとパネが変形する恐れがあります。
取付に不備があると枠落下の原因となります。

11. 点灯確認・点滅確認

・電源通電状態でランプおよび各モニターランプの状態を確認する。

正常状態 充電モニター (緑) は点灯 ランプモニター (赤) は消灯

・電源通電状態でカセット式ランプ用点検スイッチを押し、非常点灯確認をする。

(点検中、カセット式ランプ用充電モニター (緑) は消灯)

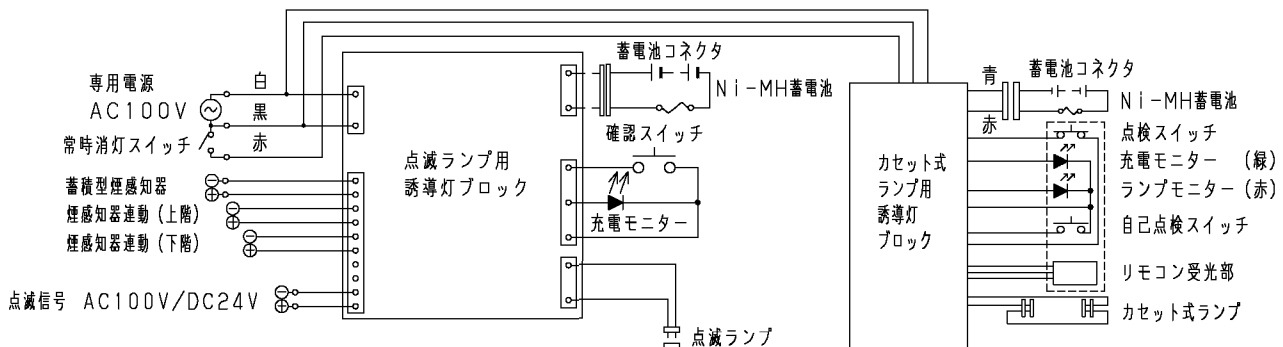
・点滅ランプ用確認スイッチを押し、非常点滅を確認する。

(点検中、点滅ランプ用充電モニター (緑) は消灯)

電池は設置後通電し充電しないと非常点灯・点滅しません。

正常に動作しない場合は「故障かな?と思ったときは」を参照してください。

器具定格・接続図



定 格	品 番	FA20301	FA40301	FA20311	FA40311
定格電圧		AC100V	AC100V	AC100V	AC100V
入力電流		0.074A	0.091A	0.075A	0.093A
入力電力		3.9W	4.8W	4.0W	4.9W

取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

警告

- 器具を改造しない。火災・感電の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがした場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- アルカリ系洗剤は使用しない。強度低下による破損の原因となります。

注意

- カセット式ランプは絶対に分解しないでください。感電の原因となります。
- 内蔵部品ケースは絶対に外さないでください。感電の原因となります。
- 蓄電池を加熱したり、火や水の中へ入れたりしないでください。破裂する危険があります。
- 蓄電池は絶対に分解しないでください。感電・やけどの原因となります。蓄電池内の液は、皮膚や衣類をいためます。
- 蓄電池のショートは絶対にさけてください。火災・破裂・やけど・感電の原因となります。
- 照明器具には寿命があります。(※1)法令に基づいて点検を実施してください。点検せずに長時間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。
- 「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。(チェックシート番号:CLX2021HA)

※1 照明器具は、使用条件、使用環境で異なりますが、8~10年が取り替え時期の目安です。但し、蓄電池は、4~6年です。

使用上のご注意

- ・長時間器具を使用しない場合は、蓄電池をはずして保管してください。蓄電池の劣化や短寿命の原因となります。
- ・カセット式ランプ交換後はリセットスイッチを2秒以上長押ししてください。カセット式ランプ交換時期誤診断の原因となります。
- ・自己点検スイッチ及びリモコンでの点検はカセット式ランプのみです。点滅ランプの自己点検は行えません。



カセット式ランプ用
充電モニター (緑)

点滅ランプ用
充電モニター (緑)

充電モニター (緑)

蓄電池の充電が なされているか 確認できます。		緑色点灯	正常です。
		点灯しない	蓄電池が充電されていません。 非常点灯になっていないか、または、蓄電池 コネクタが外れていないかを確認してください。
リモコンの確認 スイッチを押し した場合		緑色点滅	蓄電池の交換の合図です。 蓄電池容量の低下を緑点滅でお知らせします。 (注)カセット式ランプ用充電モニターのみ
		約1秒間点滅 (4回)	点検可能。 (24時間以上充電されている。) (注)カセット式ランプ用充電モニターのみ

自己点検スイッチ

- ・蓄電池容量の点検が行なえます。判定には最大20分(長時間定格型の場合、最大60分)かかります。
- ・先の細い(φ3以下)物で2秒以上押しと点検を開始します。(カセット式ランプ用充電モニターが消灯します。検査終了後は自動的に復帰します。)
- ・自己点検スイッチの動作には、24時間以上充電が必要となります。(24時間以内に、3秒以上の非常点灯があった場合は動作しません。)

自己点検用リモコン受光部

ランプモニター (赤)

カセット式ランプ の交換時期や 異常などをお知ら せするものです。		点灯しない	正常です。
		赤色点灯	カセット式ランプまたはカセット式ランプの 接続に異常が発生しています。
リモコンの確認 スイッチを押し した場合		赤色点滅	カセット式ランプ交換の合図です。 カセット式ランプの点灯時間をカウントし、 60000時間後に赤色点滅でお知らせします。
		約1秒間点滅 (4回)	点検不可。 (充電時間不足)

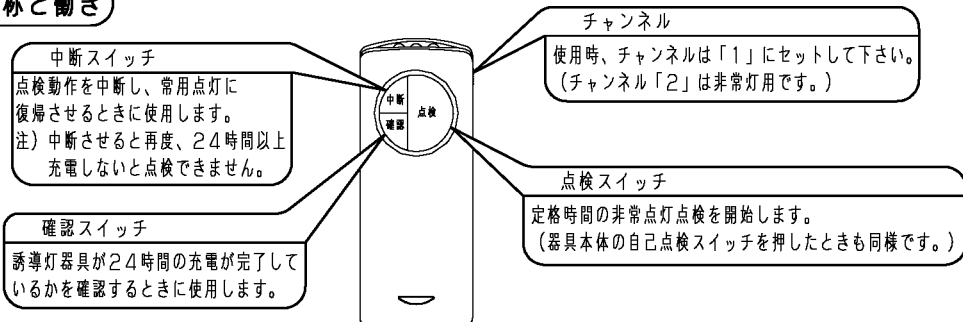
(注) ランプモニターが点滅しなくてもカセット式ランプの明るさ低下または変色等の場合、カセット式ランプを交換してください。

自己点検誘導灯用リモコンについて

適合リモコン品番: FSK90910K (別売)

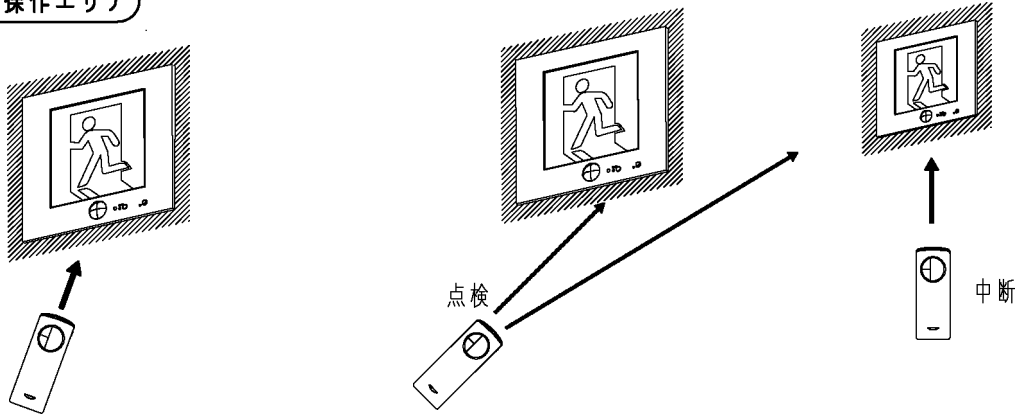
注) リモコンによる点検はカセット式ランプ用の蓄電池のみです。点滅ランプ用の蓄電池については点検できません。

スイッチ各部の名称と働き



使用上のご注意（続き）

リモコン操作エリア



リモコンを操作するときは
点検する誘導灯器具の近傍から
リモコンを誘導灯器具
に向けて送信してください。

近傍からリモコンを操作しない場合、隣接する器具も
受信してしまうことがあります。その際は隣接する
器具の近傍から、リモコンの中断スイッチを押して
点検を中断してください。
※中断した場合は、再度24時間充電が必要です。

リモコンによる点検方法

・チャンネルを「1」にセットして下さい。

1. リモコンの確認スイッチを押してください。

【器具本体のモニターを確認してください】

- ・カセット式ランプ用充電モニター（緑）が約1秒間点滅（4回）⇒点検準備が来ています。2.に進んで下さい。
- ・ランプモニター（赤）が約1秒間点滅（4回）⇒点検準備が来ていません。24時間以上充電して下さい。

2. リモコンの点検スイッチを押してください。

【器具本体のモニターを確認してください】

- ・カセット式ランプ用充電モニター（緑）が消灯（非常点灯に切り換ります。）⇒3.に進んで下さい。

3. 蓄電池の容量の点検が行えます。

判定には最大20分（長時間定格型の場合、最大60分）かかります。

【器具本体のモニターを確認してください】

- ・カセット式ランプ用充電モニター（緑）が点灯 ⇒ 正常です。
- ・カセット式ランプ用充電モニター（緑）が点滅 ⇒ 蓄電池の交換時期です。

※ 途中で点検を中断する場合、
リモコンの「中断」スイッチを押して下さい。

【器具本体のモニターを確認してください】

- ・カセット式ランプ用充電モニター（緑）が点灯（通常状態に戻ります。）

リモコンスイッチと器具状態の対応表

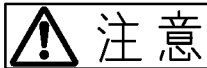
	器具の状態		
	充電中 (充電時間24時間未満)	充電完了状態 (充電時間24時間以上)	点検中
点検スイッチ	— (充電モニター(緑)が 約0.5秒消灯し 点灯に戻ります)	点検開始 (充電モニター(緑) 点灯⇒消灯)	— (充電モニター(緑) 消灯したまま)
中断スイッチ	— (充電モニター(緑) 点灯したまま)	— (充電モニター(緑) 点灯したまま)	点検中断 (充電モニター(緑) 消灯⇒点灯)
確認スイッチ	ランプモニター(赤) 1秒間点滅(4回)	充電モニター(緑) 1秒間点滅(4回)	— (充電モニター(緑) 消灯したまま)

— の場合は充電・ランプモニターの状態に変化はありません。

保証について

- 保証について
この商品の保証期間は1年間です。カセット式ランプ・蓄電池等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- 保証書について
保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- 補修用性能部品の保有期間
弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しています。
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ・部品交換



注意

カセット式ランプ・蓄電池の交換時は、器具に取付けられているパナソニック製の同じカセット式ランプ・蓄電池にお取り替えください。故障・ランプ破損の原因となります。

- 器具の清掃について・・・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色、変質、強度低下による破損の原因となります。
- 表示板の交換について・・・長期使用により、表示効果が低下（変色・退色）した場合は表示板を交換してください。

カセット式ランプの交換方法

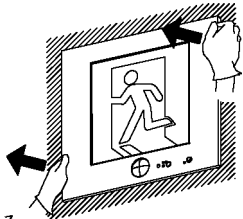
ランプモニターが赤色点滅するとランプの交換時期です。（通電60000時間後）
（注）ランプモニターが点滅しなくても、カセット式ランプの明るさ低下または変色等の場合はカセット式ランプを交換してください。

交換部品

カセット式ランプ（パナソニック製ランプをご使用ください。）

品番：FK91220

1. 枠を外す



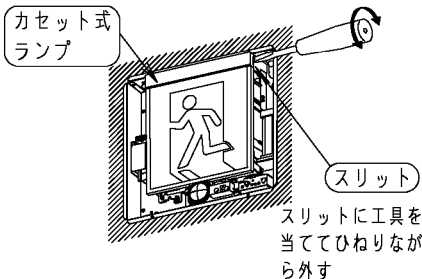
枠の両端を引っ張る。
（左端は下寄り、右端は上寄りを持って引っ張ると、より容易に外せます。）

注）仮吊紐が外れないように注意してください。

2. カセット式ランプを外す

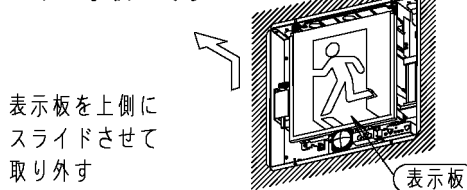
（ランプモニター（赤）点灯）

カセット式ランプを工具（マイナスドライバー等）で片方ずつ外す。



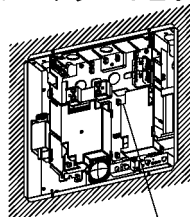
- （注1）必ず左右とも工具にて外してください。無理に引き抜くと破損の恐れがあります。
（注2）工具は強く押し当てないでください。カセット式ランプの破損の恐れがあります。
（注3）カセット式ランプ交換は電源通電状態で行ってください。

3. 表示板を外す



表示板を上側にスライドさせて取り外す

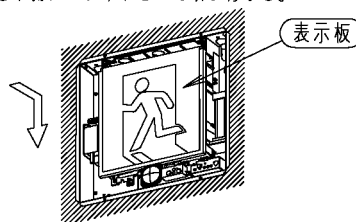
4. リセットスイッチを2秒以上押す



リセットスイッチを押すことでリセットスイッチランプ点灯時間のカウントがリセットされます。

5. 表示板を取付ける

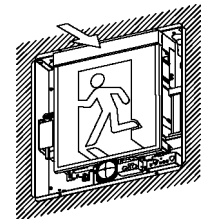
表示板を下側にスライドさせて取り付ける。



（詳しい取付方法は、各部のなまえと取付けかた（6. 表示板の取付）を参照ください。）

取付に不備があると表示板落下の原因となります。

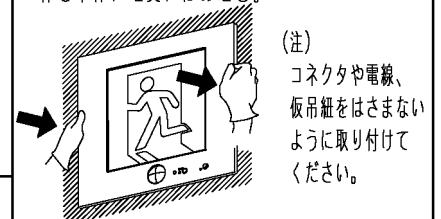
6. 新しいカセット式ランプを取付ける



（詳しい取付方法は、各部のなまえと取付けかた（7. カセット式ランプの取付）を参照ください。）

7. 枠の取付

枠を本体に確実にめ込む。



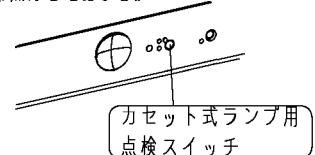
（注）コネクタや電線、仮吊紐をはさまないように取り付けてください。

（詳しい取付方法は、各部のなまえと取付けかた（10. 枠の取付）を参照ください。）

8. 点検スイッチを押す。

（ランプモニター（赤）消灯）

カセット式ランプ用点検スイッチを押し、非常点灯を確認する。



カセット式ランプ用点検スイッチ

お手入れ・部品交換 (続き)

蓄電池の交換方法

24時間以上充電しても20分間(長時間定格型は60分)非常点灯しない場合は、蓄電池を交換してください。

(注) 電池を交換する場合、通電状態で蓄電池を交換してください。

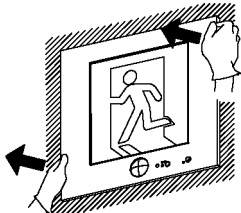
通電状態でない場合、充電モニター(緑色)の点滅が正常(点灯状態)に戻りません。

交換部品：蓄電池

一般型 (20分定格)	カセット式 ランプ用	FK731 (2.4V 700mA)
	点滅 ランプ用	FK765 (7.2V 1300mA)
長時間定格型 (60分定格)	カセット式 ランプ用	FK736 (3.6V 700mA)
	点滅 ランプ用	FK766 (7.2V 1450mA)

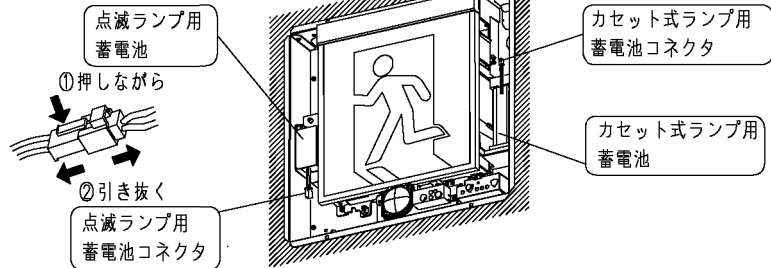
※電池は必ず2個同時に交換してください。

1. 枠を外す



枠の両端を引っ張る。
(左端は下寄り、右端は上寄りを
持って引っ張ると、より容易に外せます。)

2. 蓄電池コネクタを外す(充電モニター(緑)消灯)

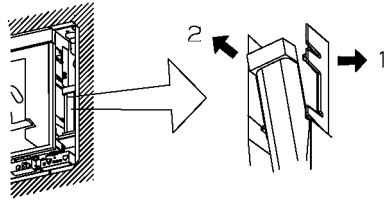


3. 蓄電池の交換・コネクタの接続

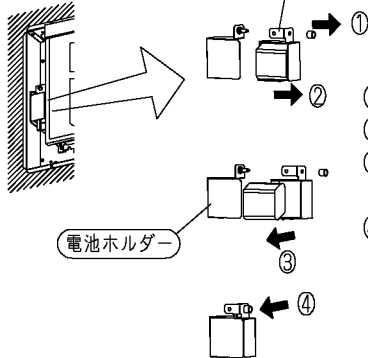
・蓄電池を交換する。

(カセット式ランプ用蓄電池)

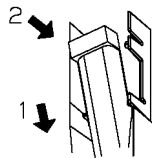
①ツメ部を広げ、蓄電池を引き出す。



(点滅ランプ用蓄電池) 電池カバー

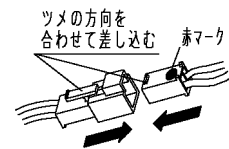


②新しい蓄電池を
本体に差し込み、取り付ける。



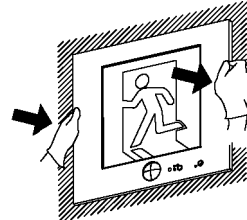
- ①つまみネジを外す。
- ②電池カバーを蓄電池と一緒に外す。
- ③旧蓄電池を電池カバーから取り外し、
新蓄電池をはめる。
- ④電池カバーを電池ホルダーに
つまみネジで固定する。

・蓄電池コネクタを確実に接続する。
方向を間違えると蓄電池が故障します。
接続が不完全な場合、火災・非常時
不点の原因となります。(充電モニター(緑)点灯)



4. 枠の取付

枠を本体に確実にはめ込む。

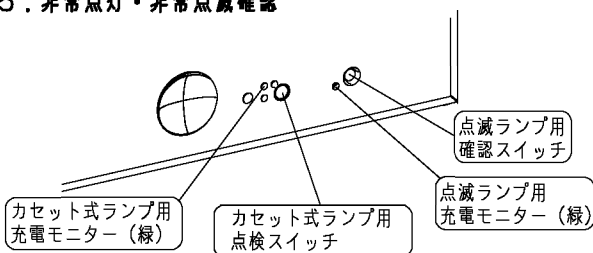


(注) コネクタや電線、
仮吊紐をはさまない
ように取り付けて
ください。

(詳しい取付方法は、各部のなまえと取付けた
(10. 枠の取付)を参照ください。)

取付に不備があると枠落下の原因となります。

5. 非常点灯・非常点滅確認



①電源通電状態でカセット式ランプ用点検スイッチを押し、非常点灯を確認する。

(点検中、カセット式ランプ用充電モニター(緑)は消灯)

(注) カセット式ランプ用点検スイッチを押さないと点灯しません。

②電源通電状態で点滅ランプ用確認スイッチを押し、
点滅ランプの点滅を確認する。

(点検中、点滅ランプ用充電モニター(緑)は消灯)

正常に動作しない場合は「故障かな?と思ったときは」を参照してください。

点検実施のお願い

電池内蔵型器具は性能維持のため、6ヶ月に1回は非常点灯への切り替え、非常点灯時間の確認を必ず行ってください。
 (常に適正な状態に維持するために、法令※で定められた定期の点検に加え、上記点検の実施をお願いします。
 非常点灯が極端に短くなるおそれがあります。)
 ※誘導灯は消防法令、非常用照明器具は建築基準法令に定められています。

◆設置年月日 年 月 日 ◆取付場所 ◆器具No.

点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者
	外観	機能			外観	機能			外観	機能	

故障かな?と思ったときは

・表にしたがって調べいただき、なお異常がある場合は、すぐに電源を切り、工事に修理を依頼してください。

現象	考えられる原因	処置
カセット式ランプが点灯しない	出力停止モードになっている。 カセット式ランプが外れている。 信号装置の手动スイッチが消灯側になっている。	点検スイッチを押す。 カセット式ランプを確実に接続して点検スイッチを押す。 点灯側にする。
表示面が暗い	周囲温度が、5～35℃の範囲外である。 点検スイッチが引っ掛かって非常点灯状態になっている。	5℃以下の場合暗くなる。 点検スイッチの引っ掛かりを直す。
充電モニターが点灯しない	蓄電池コネクタが外れている。 点検、確認スイッチが引っ掛かって非常動作状態になっている。 点滅信号が印加されていない。	蓄電池コネクタを確実に接続する。 点検、確認スイッチの引っ掛かりを直す。 点滅信号を印加する。
ランプモニターが点滅している	カセット式ランプの交換の合図です。 カセット式ランプ交換時、リセットスイッチを2秒以上押していない。	カセット式ランプを交換し、交換時にリセットスイッチを2秒以上押す。 カセット式ランプ、表示板を一度取外し、リセットスイッチを2秒以上押す。
ランプモニターが点灯している	カセット式ランプが外れている。 カセット式ランプが破損している。	カセット式ランプを確実に接続して点検スイッチを押す。 カセット式ランプを交換して、リセットスイッチを2秒以上押す。
表示面が非常点灯しない 表示面が短時間しか点灯しない ●一般型：20分未満 ●長時間定格型：60分未満	蓄電池コネクタが外れている。 蓄電池の充電不足。 蓄電池の寿命。	蓄電池コネクタを確実に接続する。 24時間以上充電する。 蓄電池を交換する。
点滅動作がとまらない	誘導灯用信号装置の操作方法の間違い。 配線が間違っている、緩んでいる。 信号線の電圧降下が大きすぎる。 制御する器具の台数が多すぎる。 点滅ランプ用確認スイッチが押された状態になっている。	誘導灯用信号装置の取扱説明書を参照する。 誘導灯用信号装置と器具の間、器具内の配線を正常化する。(中継盤は介さない) 電圧降下10%までに抑える。 システムの再構築。(カタログ等参照) 点滅ランプ用確認スイッチの引っ掛かりを直す。
点滅動作しない 短時間しか動作しない ●一般型：点滅20分未満 ●長時間定格型：60分未満	蓄電池コネクタが外れている。 蓄電池の充電不足。(保管時の自然放電や施工時の放電など) 蓄電池の寿命。 誘導灯用信号装置の操作方法の間違い。 配線が間違っている、緩んでいる。 蓄積型煙感知器により停止状態になっている。	蓄電池コネクタを確実に接続する。 24時間以上充電する。 蓄電池を交換する。 誘導灯用信号装置の取扱説明書を参照する。 誘導灯用信号装置と器具の間、器具内の配線を正常化する。(中継盤は介さない) 蓄積型煙感知器の接点が開放状態になるようにする。
定格時間の非常点灯の後突然消灯する。 ●一般型：20分以上 ●長時間定格型：60分以上	蓄電池の早期劣化を防止するため、特定電圧まで下がると消灯します。正常な動作です。	
自己点検スイッチが動作しない	2秒以上押していない。 24時間以上充電していない。 24時間以内に3秒以上の非常点灯、停電があった。 24時間以内に蓄電池コネクタをはずした。	2秒以上押す。 24時間以上充電する。
リモコンの点検スイッチが動作しない	24時間以上充電していない。 24時間以内に3秒以上の非常点灯、停電があった。 24時間以内に蓄電池コネクタをはずした。	24時間以上充電する。



Ni-MH

この器具は、「ニッケル水素電池」を使用しております。ご使用済みの「ニッケル水素電池」は貴重な資源です。再利用しますので、廃棄しないで電池パックのまま充電式電池リサイクル協力店へお持ちいただくか、または「一般社団法人JBR C」に依頼してリサイクルしてください。

パナソニック株式会社 ライティング事業部 〒571-8686 大阪府門真市門真1048
 お問い合わせ先 パナソニック 照明器具・ランプ商品ご相談窓口 <https://sumai.panasonic.jp/support/>
 0120-187-441 (フリーダイヤル) 【受付時間】月～土/9:00～18:00 (祝日・3日が除く) ※携帯電話からもご利用になれます。
 0120-872-460 (FAX) [Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787 Open: 9:00-17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)]